

【プロポーザルの評価基準】

評価項目	着眼点・視点（配点内訳を括弧内に記載）	配点
目的・対象者	経済的困窮にある世帯の児童等に不足しがちな生活習慣やコミュニケーション能力等の社会的なスキルの向上等を図るため、児童等及び保護者への総合的な支援に取り組めるか。	10点
土曜会場の運営	<p>(1) 責任者、生活・学習指導員、生活・学習支援員及びボランティア（25点） 本事業に係る人員体制・研修内容が具体的に明記されているか。責任者は豊富な経験がある者を登用でき、指導員、支援員及びボランティアについては本市または近隣市にゆかりがある懇切な人材を登用できるか。</p> <p>(2) 受託者の役割（10点） 児童等の支援内容が途切れることのない仕組みや環境づくりがなされているか。</p> <p>(3) 学習支援（25点） 児童等一人ひとりの学力や意欲に寄り添い、学習習慣の定着等に寄与した支援が行えるか。さらに、中学生コースの中学2年生については、中学3年生の受験期に向けた学習習慣への意識及び進学への支援に取り組む体制があるか。</p> <p>(4) 生活支援（25点） 学習のみならず、学習に取り組むための土台となる児童等の自己肯定感や意欲等の醸成に積極的に取り組む姿勢や仕組みがあるか。</p> <p>(5) 体験イベント（10点） 家庭の事情等により不足する社会的経験を補うとともに、児童等の社会的意識やキャリア教育に寄与するイベント内容となっているか。</p> <p>(6) 保護者との連携（10点） 支援にあたって、保護者の理解と家庭での声かけなどの協力を促し、児童等が安心し、継続して通えるような意識の醸成ができるか。保護者に対しても十分配慮した、適切な声かけができるか。</p>	105点
直営会場の運営支援	<p>受託者のこれまでのノウハウを活用し、児童等の状況に応じたきめ細かい支援が可能となる協力体制が整っているか。また、具体的な支援提案があるか。</p> <p>児童等の個別の状況によっては、専門的な知識を有する職員が巡回にする体制が整っているか。また、具体的な支援提案があるか。</p>	15点
研修実施	<p>直営会場を含めたスタッフに対して事業を理解するための事前研修や能力向上に資する研修等の体制があるか。また、研修の目的、内容、頻度等の具体的提案があるか。また、スタッフ間の交流を図る機会の提案があるか。</p> <p>当日研修に参加できないスタッフに対するフォロー体制が整っているか。</p>	15点
テストの作成・実施・分析	<p>全会場の初回及び年度末テストを作成し、印刷、配布及び回収を行える体制があるか。</p> <p>また、テストの結果から児童等の分析を行い、学習課題と改善方法を提案しているか。</p>	15点
事業記録	<p>児童等の生活や学習、その他非認知能力等の向上や変化を確認し、記録が取れる手法であるか。</p> <p>スタッフの能力向上、運営改善ができる記録を提示しているか。</p>	10点
個人情報・プライバシーの取扱い・守秘義務	個人情報保護のための対策が十分であり、信頼できる内容と認められるか。	10点
経済性	提案された内容に見合った価格か。	20点